

予算項目	ポンプ場費 工事請負費
工事番号	下管工 第8号

設 計 書

課 長	課長補佐	係 長	主任監督員	検 算	工事監督員

年 度	令和2年度	作 成 年 月 日	令 和 2 年 6 月 2 6 日	期 間	着 工 完 成 令 和 3 年 1 月 15 日
件 名	新屋汚水中継ポンプ場給気ファン改修工事				
場 所	新屋元町1番2号			契約者	
設計金額	金 円也				
財源区分	国 補 ・ 県 補 ・ [市 単]				

費 用 内 訳				概 要	
		設 計 額 (円)		給気ファンおよび接続ダクト類更新 1式	
	工 事 価 格				
	消費税等相当額				
	本 工 事 費 計				
				主任監督員(職名)氏名	
				工事監督員(職名)氏名	



本 工 事 内 訳 書

費 目	工 種	種 別	細 別	単位	数量	単 価 円	金 額 円	摘 要
本工事費								
	機械設備改修工							
		直接工事費	換気設備					
			直接仮設	式	1			内訳書 第1号
			換気機器設備	式	1			内訳書 第2号
			ダクト設備	式	1			内訳書 第3号
			試運転調整費	式	1			
			撤去費	式	1			内訳書 第4号
			発生材運搬費	式	1			内訳書 第5号
			総計					
		直接工事費計						
		共通仮設費		式	1			
		小計（純工事費）						
		現場管理費		式	1			
	計（工事原価）							

本 工 事 内 訳 書

費 目	工 種	種 別	細 別	単位	数量	単 価 円	金 額 円	摘 要
		一般管理費等		式	1			
	機械設備改修工計							
工事価格								
消費税等相当額				式	1			
本工事費計								

内 訳 書

直接仮設

第 1 号

名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
内部仕上足場(桢組棚足場)	階高5.5m	延㎡	5.0			
養生・整理清掃跡片付け	個別改修	延㎡	5.0			
仮設材運搬費(内部足場)	仕上(桢組足場)5.5m	延㎡	5.0			
ラフテレーンクレーン	10 t 吊り、オペレータ付き	日	1			
計						

内 訳 書

換気機器設備

第2号

名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
天吊り型送風機（電動機、防振装置、天吊りボルト等含む）	番手No. 3、7, 730m ³ /h×334Pa、3φ 200V、2.2kW、内面・外面エポキシ樹脂塗装仕様	台	1			
送風機輸送費	工場から新屋汚水中継ポンプ場まで	式	1			
天吊り型送風機据付費	No.3以下	台	1			
配線用遮断器	50AF/30AT	個	1			
送風機電線接続 （配線用遮断器取替え含む）		式	1			
計						

内 訳 書

ダクト設備

第3号

名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
送風機用たわみ継手	番手No.3以下	組	1			
チャンバー(低圧用)	1.0mm	m ²	2.9			
ダクト点検口	400×550	個	1			
点検口(ダクト用)取付費	0.2～0.3m ² 程度	個	1			
風量調整ダンパー	700×500	個	1			
風量調整ダンパー取付費	～0.5m ² 以下	個	1			
アングルフランジ工法ダクト(低圧ダクト)	インサート無、0.6mm(451～750mm)	m ²	1.4			
計						

内 訳 書

撤去費

第4号

名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
天吊り型送風機撤去	250kg以下	t	0.2			
チャンパー(低圧用)撤去	0.8mm	m ²	2.9			
点検口(ダクト用)撤去	0.2m ² 以上	個	1			
風量調整ダンパー撤去	～0.5m ² 以下	個	1			
アングルフランジ工法ダクト(低圧ダクト)撤去	インサート無、0.6mm(451～750mm)	m ²	1.4			
計						

内 訳 書

発生材運搬費

第5号

名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運搬機械運転(トラック)	普通用 2t積	日	1			
計						

新屋汚水中継ポンプ場給気ファン改修工事

特記仕様書

令和 2 年度

秋田市上下水道局 下水道施設課

第1章 総則

1 適用

本仕様書は、秋田市上下水道局（以下「発注者」という。）が発注する「新屋汚水中継ポンプ場給気ファン改修工事」に適用する。

2 施工場所

工事の施工場所は、次のとおりとする。

新屋元町1番2号

3 工期

令和3年1月15日まで

4 一般事項

本仕様書に記載していない一般事項については公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）及び（電気設備工事編）等に基づくものとする。

5 提出書類

受注者は、工事が完了したときは、次の書類を提出すること。

- (1) 完成図書
- (2) 工事記録写真
- (3) 各種伝票写し（材料・産廃マニフェスト）
- (4) その他監督員が指示する書類

6 その他

- (1) 施工箇所において、下水道施設に破損、不等沈下、腐食等の異状を発見した場合は、速やかに監督員に報告すること。
- (2) 受注者は、作業の際、注意義務を怠ったことにより、第三者に損害を与えたときは、その復旧および賠償に全責任を負うこと。
- (3) その他、特に定めのない事項および本仕様書に疑義が生じた場合は、速やかに監督員に報告し、受注者と監督員との協議を実施する。

第2章 給気ファン改修

1 工事内容

本工事は、新屋汚水中継ポンプ場給気ファン改修を行うものである。概要は次のとおり。

- (1) 天吊り型給気ファンの撤去および新設（電線接続含む）
- (2) 給気ファンに接続するチャンバー（ダクト点検口入り）、角ダクト、風量調整ダンパー等の撤去および新設
※別紙、施工範囲図参照
- (3) 給気ファンの配線用遮断器の取替え
- (4) 改修後、現地にて試運転調整を行う。
- (5) 発生材運搬

2 仕様

本工事の仕様は、次のとおりとする。

- (1) ダクト類はアングルフランジ工法（亜鉛鉄板製）とし、現地塗装は行わない。
- (2) 風量調整ダンパーは手動式とする。
- (3) 沈砂池室給気ファン 1台

FS-5 沈砂池系統給気ファン

項 目	仕 様	備 考
(1) 名称	天吊り型 片吸込多翼送風機	
(2) 番手	No. 3	
(3) 風量	7,730m ³ /h	
(4) 静圧	334Pa	
(5) 回転速度	770min ⁻¹	
(6) 取扱気体	常温空気	
(7) 電動機仕様	2.2kW 4P 3φ 200V 50HZ	直入れ
(8) 本体色	メーカー純正色	
(9) 特殊仕様	内面・外面エポキシ樹脂塗装仕様	
(10) 付属品	防振装置、相フランジ、天吊りボルト等含む	

3 その他

撤去前に風量測定を行い、新設後の風量をダンパーで調整すること。

第3章 その他

1 法令等の遵守

- (1) 受注者は、施工を実施する際は、労働基準法、関連法令、条例、規則等を遵守しなければならない。
- (2) 使用人に対する、諸法令等の運用、適用は、受注者の負担と責任の元で行うこと。
- (3) 適用を受ける諸法令等は、改定等があった場合は最新のものを使用すること。

2 住民との協調

受注者は、住民等からの要望、もしくは住民等と交渉があったときは、遅滞なく監督員に申し出て、その指示を受け、誠意を持って対応し、その結果を速やかに報告すること。

3 施工上の注意

- (1) 新屋汚水中継ポンプ場は稼働中の施設であるため、施工する際は、ポンプ場の運転や維持管理業務に支障が出ないように配慮すること。
- (2) 施工によって、ポンプ場の運転業務に支障が認められた場合は、速やかに作業を中止し、監督員の指示に従うこと。

4 安全管理

(1) 労働災害防止

- ア 作業中は、気象条件に十分注意を払い、豪雨、出水、地震等が発生した場合は、速やかに対処できるような対策を講じておくこと。
- イ 現場の作業環境は、常に良好な状態を保ち、機械器具その他の設備は常時点検して、作業に従事する者の安全を図ること。

(2) 公衆災害防止

施工中は、常時、作業現場周辺の住民および通行人の安全並びに交通等の円滑な処理に努め、現場の保安対策を十分に講じること。

(3) その他

- ア 事故が発生したときは、ただちに監督員および関係公官署に報告するとともに、速やかに必要な措置を講じること。
- イ 前項の通報後、受注者は、事故の原因、経過および被害内容を調査し、その結果を書面により、ただちに監督員に届け出ること。

電子納品に関する特記仕様書

第1条 電子納品対象工事

本工事は、電子納品対象工事とする。

電子納品とは、工事の最終成果を電子データで納品することをいう。

ここでいう電子データとは、「工事完成図書の電子納品等要領」（以下「要領」という。）に定めるところにより作成されたものを指す。

なお、書面における署名又は押印の取扱いについては、別途監督員と協議するものとする。

第2条 工事完成図書の提出

工事完成図書は、要領に基づいて作成した電子データを電子媒体で1部提出する。

要領で特に記載がない項目については、原則として、成果を電子化して提出する必要はないが、監督員と協議のうえ電子化の是非を決定する。

なお、紙媒体による提出も、監督員と協議のうえ決定する。

第3条 工事完成図書の電子納品に関わる費用負担

工事完成図書の納品に関わる費用の負担については、従来どおりとし、歩掛等の増減は行わない。

第4条 検査

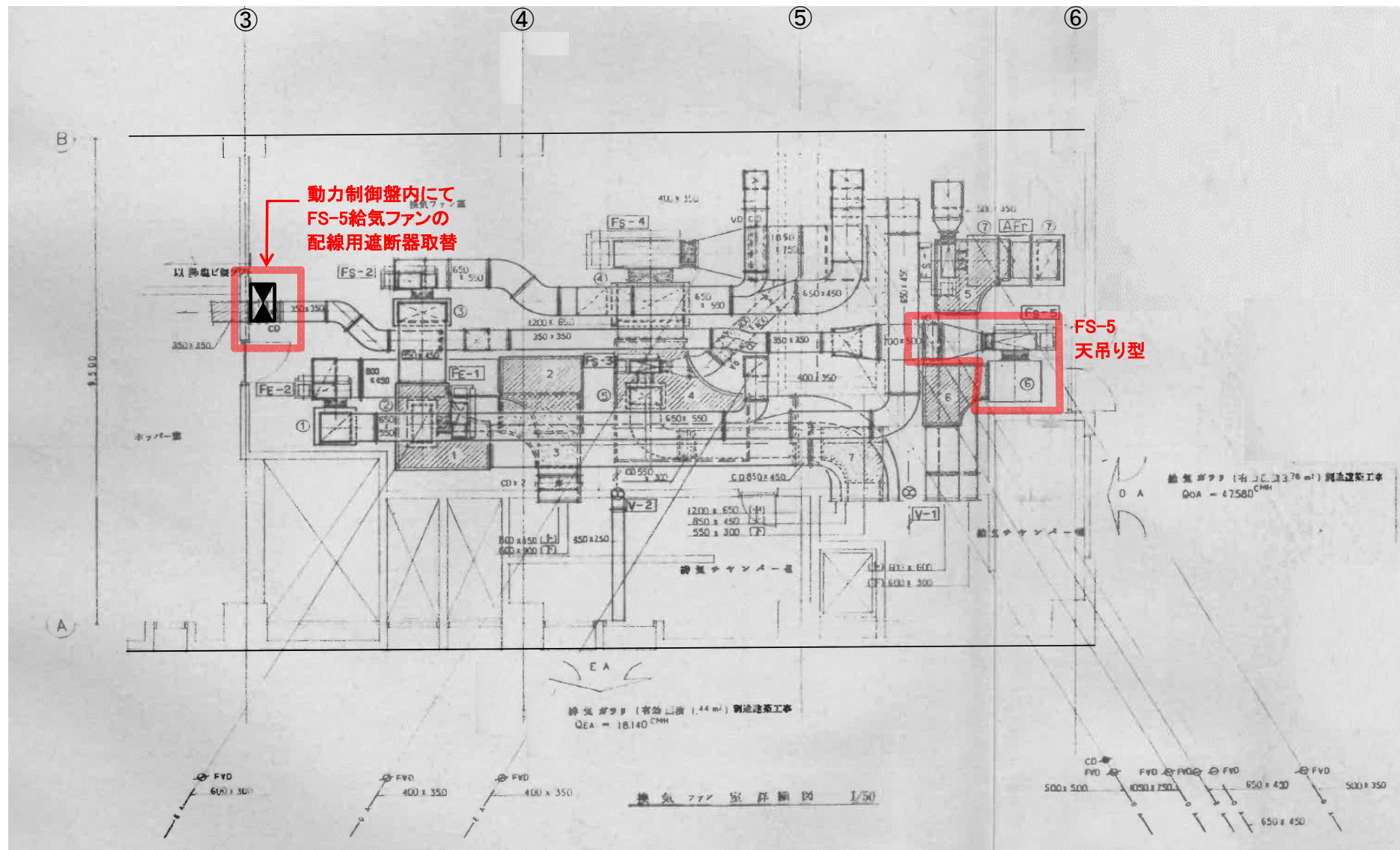
検査を電子機器を使用して実施するか紙媒体で実施するかは、検査員、監督員および受注者間の協議によることとするが、必要な機器類は受注者が準備し、検査員が閲覧を希望する書類の検索・閲覧を行うための機器操作も受注者が行うことを原則とする。

第5条 電子納品によりがたい場合の措置

受注者は、電子納品によりがたい場合には、監督員の承諾を得て、従来どおり紙媒体で書面および資料を提出することができる。

第6条 調査

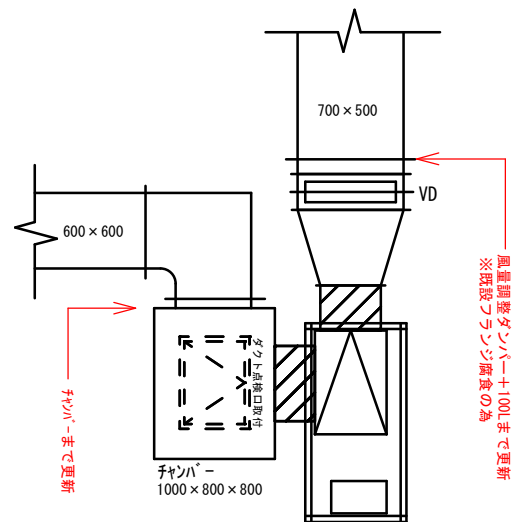
市が電子納品に関わる調査を行う場合、受注者は調査に協力するものとする。



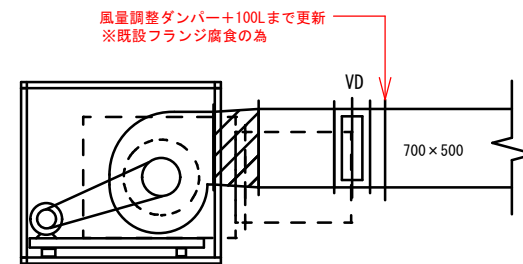
2階換気ファン室

□ : 施工範囲

件名	新屋汚水中継ポンプ場給気ファン改修工事		
図名	施工範囲図		
縮尺	—	作成日	R2. 6
秋田市上下水道局下水道施設課	図番	1	



平面図



立面図

記号	機器名称	台数	機器仕様	電気容量	備考
FS-5	給気ファン (沈砂池系統)	1	天吊り型 片吸込シロッコファン 番手No. 3 x 7, 730m3 x 334Pa 内面・外面エポキシ樹脂仕様 防振装置、相フランジ、天吊りボルト含む	3φ 200V 2.2kW 直入	

件名	新屋汚水中継ポンプ場給気ファン改修工事		
図名	送風機廻り詳細図		
縮尺	A4 1/50	作成日	R 2 . 6
秋田市下水道施設課	図番	2	

質問および回答について

1 工事番号 下管工 第008号

2 工事名 新屋汚水中継ポンプ場給気ファン改修工事

3 入札書締切日 令和 2 年 8 月 18 日

4 質問・回答

(1) 質 問 本設計図書に対する質問は、以下のとおり行うものとします。

ア 提出期限 令和 2 年 8 月 11 日 (火) 午後 0 時 (正午) まで

イ 方法 入札参加資格を有する者で、質問のある者は、内容を簡潔にまとめ質問書 (様式集より) に記入のうえ、電子メールでのファイル添付にて、4 (1)エの提出先に提出してください。
なお、口頭や電話での受付は行いません。

また、電子メールでの提出に際し、件名を「質問書」としてください。
当該電子メールにて到着確認のメールを返信しますので、返信がない場合は、速やかに下記の提出先まで連絡してください。

ウ 質問書様式 (工事・委託共通) 入札・見積関係様式ページ内【設計図書に対する質問書】

<https://www.city.akita.lg.jp/jigyosha/kouzi-nyusatsu-keiyaku/1002629/1010652.html>

エ 提出先 秋田市上下水道局下水道施設課

[電話]018-864-1401 [E-Mail]ro-swfc@city.akita.lg.jp

(2) 回 答 質問への回答は、以下のとおり行うものとします。

ア 回答期限 令和 2 年 8 月 17 日 (月)

イ 方法 回答は、質問者の特殊な技術やノウハウ等に関し、質問者の権利、競争性の地位、その他正当な利益を害する恐れのあるものを除き、下記ホームページへ掲載します。
回答では、質問者の企業名等は公表しないものとします。

ホームページ (回答の掲載)

<https://www.city.akita.lg.jp/jigyosha/kouzi-nyusatsu-keiyaku/1002625/1010228/index.html>